

渇水対策関係省庁会議幹事会 議事次第

1. 日 時 平成 20 年 10 月 3 日（金） 14:00 ～

2. 場 所 内閣府本府 5 階 529・530 会議室

3. 議 事

（1）今回の渇水に関する情報交換

1）気象に関する状況と今後の見通しについて（気象庁）

2）渇水状況と対応状況について

・ダム貯水容量、取水制限の状況について

（国土交通省河川局）

・各分野における影響及び対応状況について（各省庁）

（2）意見交換

これまでの降水状況と今後の見通し

1 西日本の 7 月以降の降雨状況

7 月には太平洋高気圧の張り出しが強まり、各地で平年より早い（7 日～14 日早い）梅雨明けとなった。梅雨明け後はまとまった雨がなく、顕著な少雨傾向となった。8 月には一部の地域で局地的な大雨はあったものの、全体的に少雨傾向を解消するには至らなかった。7 月 1 日～8 月 31 日までの西日本の降水量は平年の 70%未満で、四国地方や中国地方山陽等では 30%未満のところがある（図 1）。

9 月には台風第 13 号、15 号が相次いで接近し、九州地方等では大雨となった。しかし、四国地方や中国地方ではまとまった雨とはならず、少雨傾向は解消されていない。9 月 1 日～10 月 1 日までの西日本の降水量は、四国地方や中国地方を中心に平年の 70%未満のところがある（図 2）。

早明浦ダム上流の高知県のいの町本川（ほんがわ）では、7 月 1 日～8 月 31 日までの降水量は平年の 25%となっており、極めて少なかった。9 月 1 日～10 月 1 日までの降水量においても平年の 48%となっており、少ない状況が続いている。

表 1. 西日本における平成 20 年 9 月 1 日～10 月 1 日の降水量平年比 40%未満の地点（気象官署+アメダス）

都道府県名	市区町村名	観測所名	7/1～8/31までの		9/1～10/1までの	
			降水量 (mm)	平年比 (%)	降水量 (mm)	平年比 (%)
島根県	益田市	益田(マスタ)	224.0	58	51.5	25
山口県	萩市	萩(ハキ)	192.5	45	56.0	25
岡山県	岡山市	福渡(フクワタリ)	158.5	52	51.0	30
島根県	松江市	松江(マツエ)	144.0	37	63.5	31
山口県	萩市	須佐(スサ)	432.0	101	73.0	33
島根県	海士町	海士(アマ)	183.5	52	71.0	34
島根県	松江市	鹿島(カシマ)	161.5	47	74.5	35
岡山県	井原市	佐屋(サヤ)	110.0	34	60.0	35
広島県	安芸太田町	加計(カケ)	240.0	48	79.0	36
広島県	世羅町	世羅(セラ)	144.5)	43	63.5	37
鳥取県	鳥取市	佐治(サジ)	403.0	100	108.0	37
岡山県	高梁市	高梁(タカハシ)	130.0	44	61.0	39

参考:

高知県	本山町	本山(モトヤマ)	176.0	23	204.0	50
高知県	いの町	本川(ホンガワ)	249.5	25	227.0	48

データに付加する記号:

) : 統計値を求める対象となる資料の一部が欠けているが、許容する資料数を満たす値

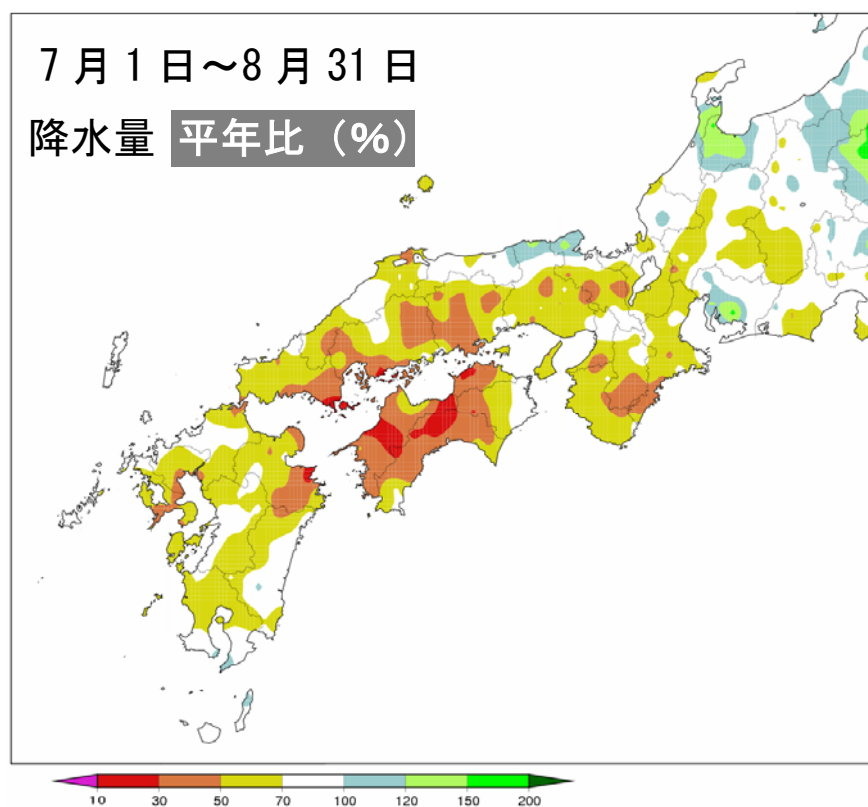


図1. 平成20年7月1日～8月31日の降水量平年比 (%)

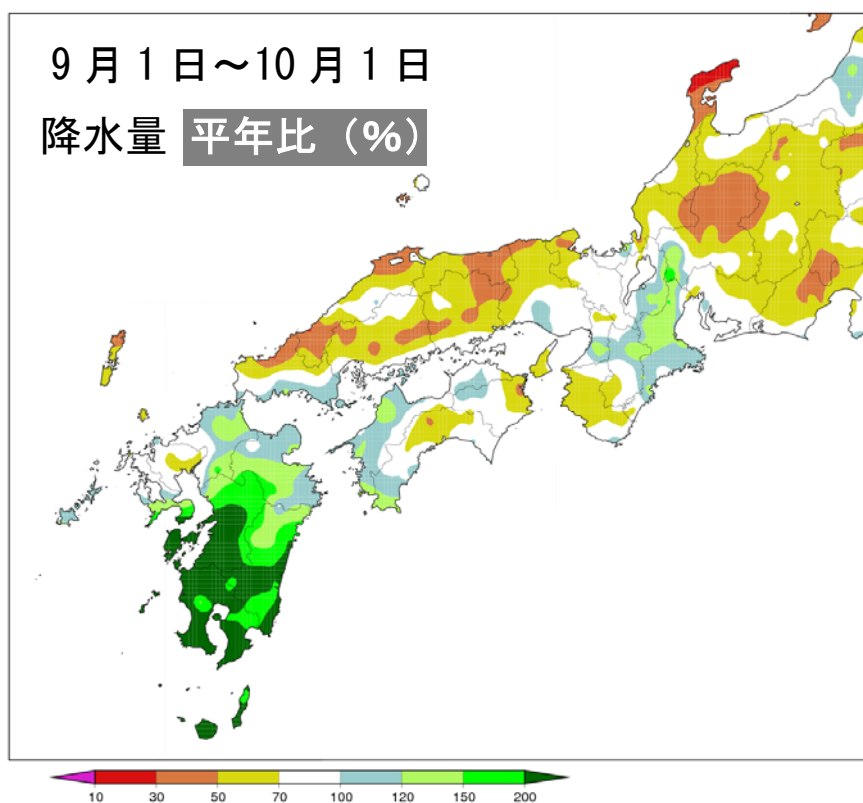


図2. 平成20年9月1日～10月1日の降水量平年比 (%)

2 少雨に関する天候情報の発表状況（平成 20 年 10 月 2 日現在）

少雨の影響が懸念されるようになった 7 月 22 日に、「東日本、西日本、沖縄・奄美の高温と少雨に関する全般気象情報 第 1 号」を発表した。その後も、適宜、少雨に関する情報を発表し、状況と見通しを伝えるとともに、水の管理等の注意を呼びかけている。

10 月 2 日現在、全般気象情報 3 回、地方気象情報のべ 28 回、府県気象情報のべ 108 回のべ 139 回の情報を発表した。

3 今後の降水の見通し

・ 10月4日（土）から10月10日（金）の1週間の見通し

向こう1週間の天気は、西日本では気圧の谷の影響で曇る日が多く、期間の前半は低気圧の影響で雨の降る日がある見込み。

向こう1週間の降水量は、西日本では平年並を予想している。

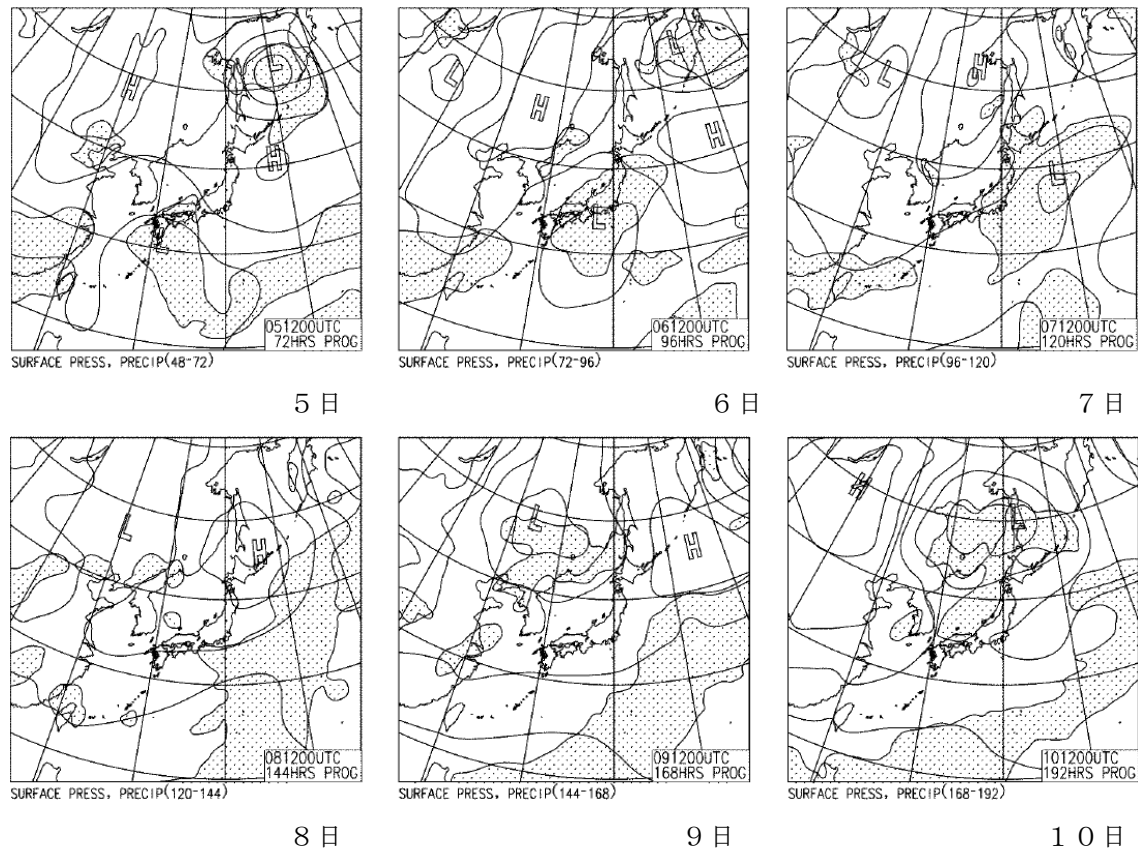


図2. 10月5日（日）から10月10日（金）の予想地上天気図と降水域の予想

* 網掛け部分：降水域

・ 10月中旬以降の見通し

高気圧や低気圧が交互に通る、天気は数日の周期で変わる。気温の変動はあるものの、向こう1か月の平均気温は高く、降水量は平年程度と見込まれる。

渇水状況報告

国土交通省河川局渇水対策本部 平成20年8月 8日設置

中部地方整備局渇水対策本部 平成20年8月20日設置

平成20年9月 2日解散

中国地方整備局渇水対策本部 平成20年8月22日設置

四国地方整備局渇水対策本部 平成20年7月24日設置

《渇水の状況》 資料1

- 西日本を中心に、5水系(2級水系含む)で取水制限実施中
- 2水系(2級水系含む)において自主節水実施中

《早明浦ダムの状況》 資料2

- 8月31日に利水貯水量がゼロになり、9月19日までの20日間は発電専用容量から上水のみを対象に緊急放流を実施(徳島用水1.95m³/s、香川用水1.90m³/s)
- 台風13号の影響による降雨等により早明浦ダムに貯水できたことから、9月19日15時には緊急放流を停止し、24日9時から4次取水制限による供給を再開(9月30日15時より10月3日13時まで一時解除)
- かんがい期の需要が減少する10月以降、取水制限は冬場運用へと移行
- 早明浦ダムの貯水状況は10月3日0時現在利水貯水率15.0%

→早明浦ダムの利水貯水率がゼロになった時点より、発電専用容量から上水のみを対象に緊急放流を実施(徳島用水1.85m³/s、香川用水1.80m³/s ※10月31日までの運用値)

→河川維持流量の一部を水利に利用する措置については、必要な時期に再度検討

渇水の状況（河川水の取水制限状況とダムの貯水状況）

平成20年10月 3日 現在

◆ 西日本を中心に5水系（―）では取水制限実施中

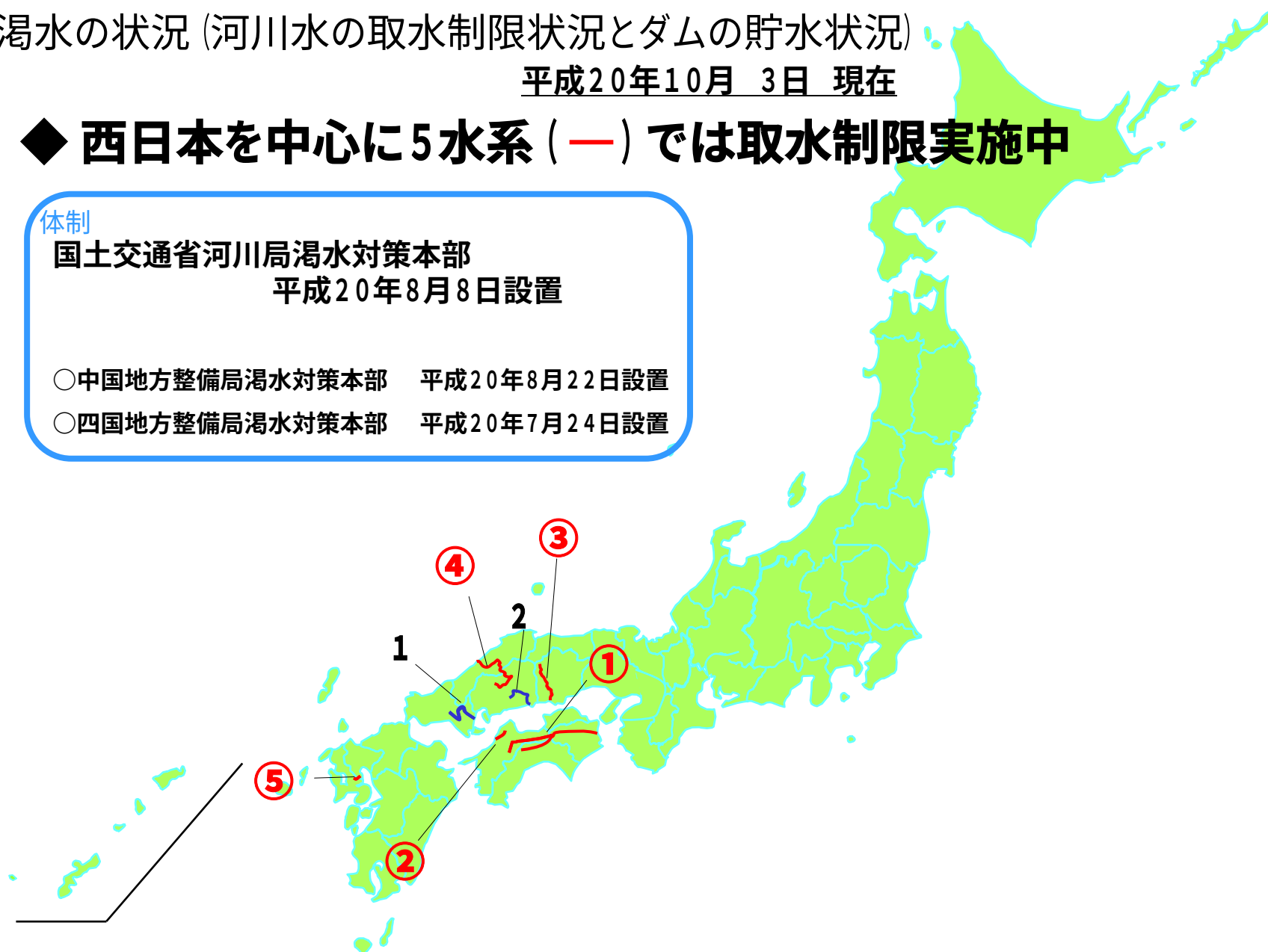
体制

国土交通省河川局渇水対策本部

平成20年8月8日設置

○中国地方整備局渇水対策本部 平成20年8月22日設置

○四国地方整備局渇水対策本部 平成20年7月24日設置



取水制限実施地域

① [取水を行う主な地域] 徳島県徳島市、香川県高松市など			
吉野川水系吉野川(早明浦ダム)〈貯水率15.0%(平年比16.5%)〉			
期間(7/25～)	徳島用水	香川用水	備考
[2次取水制限] 10/1～	28.9%	60.0%	

① [取水を行う主な地域] 愛媛県四国中央市			
吉野川水系銅山川(富郷・柳瀬・新宮ダム)〈貯水率52.9%(平年比57.7%)〉			
期間(8/29～)	上水	工水	農水
[2次取水制限] 9/17～	5.0%	30.0%	—

② [取水を行う主な地域] 愛媛県松山市			
重信川水系石手川(石手川ダム)〈貯水率69.9%(平年比88.9%)〉			
期間(8/4～)	上水	既得農水	特定かんがい
[4次取水制限] 10/1～	20.0%	46.7%	35.0%

③ [取水を行う主な地域] 岡山県倉敷市など			
高梁川水系6ダム〈貯水率46.8%(平年比65.3%)〉			
期間(8/28～)	上水	工水	農水
[2次取水制限(緩和)] 10/1～	5.0%	5.0%	10.0%

④ [取水を行う主な地域] 広島県三次市など			
江の川水系江の川(灰塚ダム)〈貯水率57.9%(平年比59.0%)〉			
期間(8/19～)	上水	工水	農水
[3次取水制限] 9/21～	—	—	60.0%

⑤ [取水を行う主な地域] 長崎県大村市			
郡川水系郡川(萱瀬ダム)〈貯水率95.2%〉			
期間(8/13～)	上水	工水	農水
[1次取水制限] 8/13～	30%	—	—

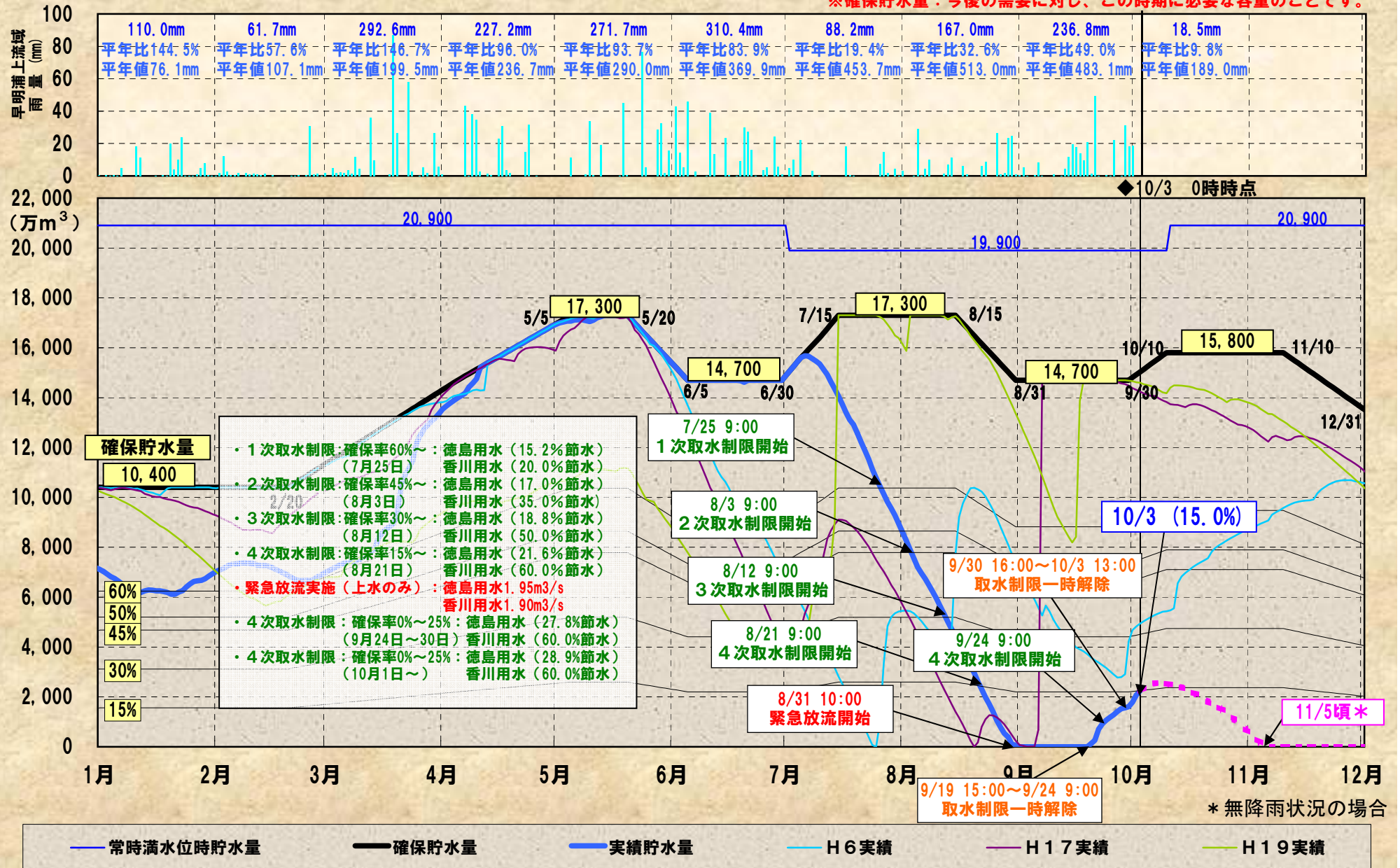
◇ その他地域の主な渇水状況(自主節水実施地域)

- 1 錦川水系錦川[山口県周南市・下松市]
- 2 芦田川水系芦田側[広島県福島市など]

早明浦ダム状況図

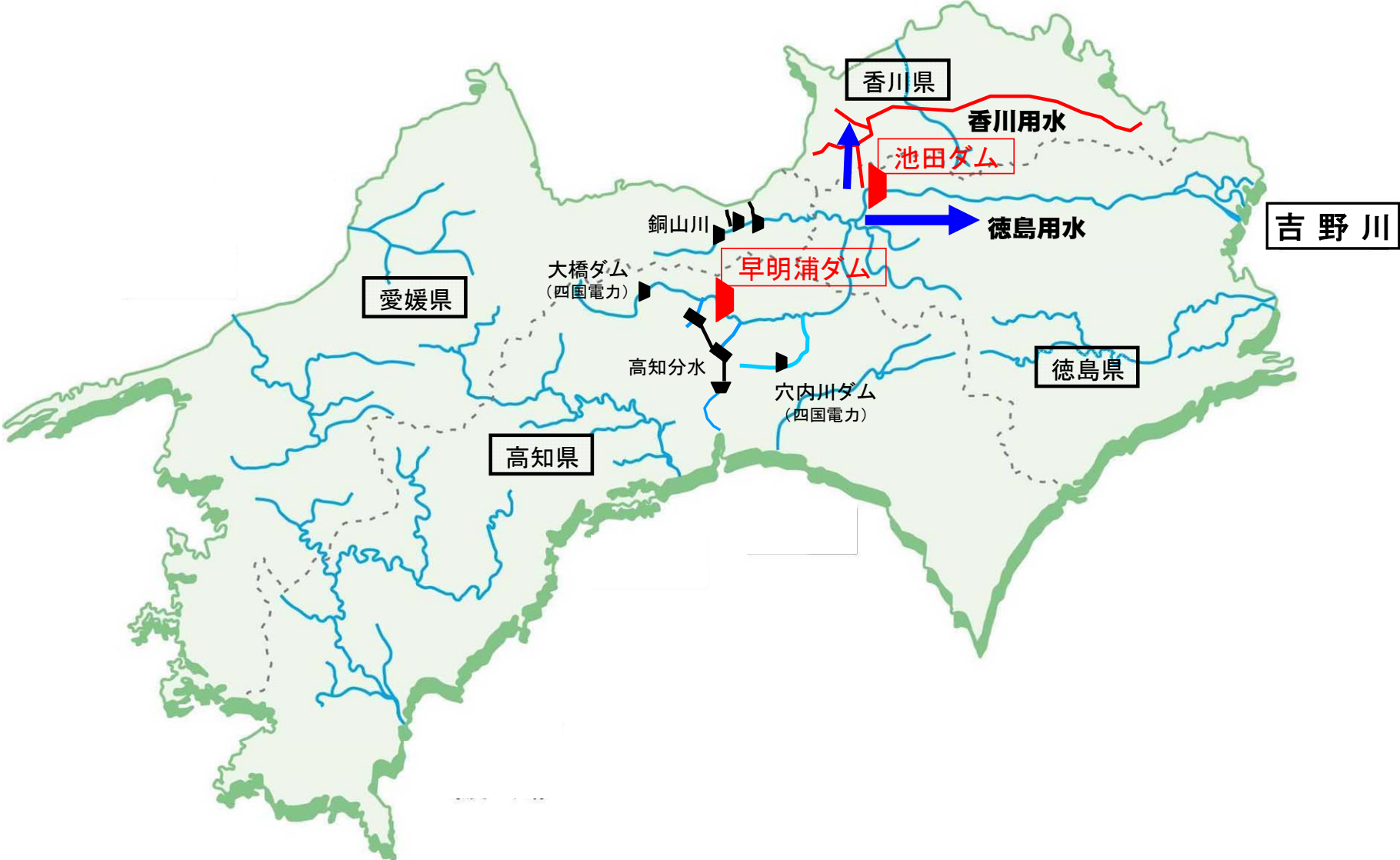
資料 2

※確保貯水量：今後の需要に対し、この時期に必要な容量のことです。



早明浦ダム位置図

参考資料



四国地方の渇水による水道事業への影響状況

平成20年10月3日現在、四国地方において給水制限(減圧給水)を行っている水道事業は香川県及び愛媛県の8市3町に渡る。今後、取水制限が強化された場合にはさらなる影響地域の増加と給水制限の強化が想定される。

なお、徳島・香川用水においては、現在、取水制限の一時的解除を実施中であるが、関係する水道事業では給水制限を継続しており、増加した取水量は、香川用水調整池の試験湛水を再開するなど有効活用を図っている。

都道府県名	市町村名	給水制限開始日時	現在の給水制限状況
香川県 (7市3町)	高松市	7月25日9時	減圧給水 (0. 27Mpa→0. 18Mpa)
	丸亀市	8月12日13時	減圧給水 (約33%減圧)
	坂出市	8月4日13時	減圧給水 (給水量の10%を削減する減圧)
	善通寺市	8月21日9時	減圧給水 (約10%減圧)
	観音寺市	8月4日9時	減圧給水 (0. 294Mpa→0. 245Mpa)
	さぬき市	8月12日9時	減圧給水 (約10%減圧)
	三豊市	9月12日12時	減圧給水 (主要配水池バルブ開度70%)
	三木町	8月3日9時	減圧給水 (バルブ開度65%)
	宇多津町	8月4日14時	減圧給水 (約30%減圧)
	多度津町	8月21日9時	減圧給水 (約10%減圧)
愛媛県 (1市)	松山市	8月8日14時30分	減圧給水 (0. 20Mpa→0. 15Mpa)

取水制限に係る工業用水道事業の現状

平成20年10月3日
経 済 産 業 省
産 業 施 設 課

1. 工業用水道事業者（関係県）は、工業用水受水企業に対して節水を要請。
2. 現在のところ、工業用水の供給による企業の事業活動への深刻な影響はでない。
3. 香川県では、早明浦ダムからの取水再開により、工業用水から水道用水への水の融通を再開している。

平成20年10月3日

農 林 水 産 省

渇水による農業用水への影響と農林水産省の対応状況について

1 農業用水等への影響

- (1) 中国四国地方の取水制限実施中の地域においては、農業用水の減量配水や反復利用等により節水を図ることにより対応。
- (2) これらの地域においては、水稻の収穫期を迎えていることから用水需要量は減少。
- (3) 水源手当のある地域においては、用水不足による作物等の被害は現時点で生じていない。

2 既に実施した措置

- (1) 8月4日、農林水産省内に「農業用水緊急節水対策本部」を設置。
- (2) 少雨に伴う農業用水の計画的配水等に係る指導文書を各農政局あて発出するとともに、農作物等への影響が懸念される地域において技術対策の周知を図り、農作物の被害状況を把握。
- (3) 各農政局において所有している「災害応急用ポンプ」(258台)を、必要に応じて貸出できるよう体制を整備。
〔10月2日現在、中国四国農政局管内において、1市へポンプを貸出中(1台)。〕

3 今後の対応

関係省庁と連携を密にしながら、必要に応じ節水の働きかけや技術指導、ポンプの貸出等を実施。